

## 第4回とくち佐波川かわまちづくり協議会議事録

日 時 令和4年12月14日(水) 10:00~11:30

場 所 徳地文化ホール 2階会議室

### 【出席委員】

会長(徳地地域づくり協議会)	板垣幸男
副会長(出雲地域づくり協議会)	吉松桂二
島地地域づくり協議会	松尾富美子
関係自治会を代表(須路下自治会)	藤本達也
徳地商工会(青年部長)	則安聡一郎
シニア山口(山口市老人クラブ連合会)徳地支部	山本清作
山口市連合婦人会徳地支部	蕨昭子
山口観光コンベンション協会徳地支部	池田大乗
佐波川漁業協同組合	中島伸廣
徳地ふるさと資源活用協会	北川武典
とくち夏祭り花火大会実行委員会	野村新一郎
一般募集	有近隆司

### 【欠席委員】

徳地中学校PTA	友景太一
中央小学校PTA	粟屋浩一郎
徳地地域協育ネット推進本部	西村和茂
山口市民生委員児童委員協議会	藤井初代
とくち行って美夜実行委員会	安田紀之

【事務局】 徳地総合支所 土木課

【オブザーバー】 国土交通省 河川管理課長 千田裕司

## 【次第】

- 1 会長挨拶
- 2 「かわまちづくり計画」(案)の作成に向けて
  - 1) 各グループの発表準備
  - 2) 各グループ発表
  - 3) 意見交換会
- 3 まとめ
- 4 次回の予定

## 【議事録】

### 2 「かわまちづくり計画」(案)の作成に向けて

A委員 今日先月に続いて第2弾となり、計画を作っていく手順となる。令和4年11月から本格的に案を作るということでやってきているが、作成については2回目の取り組みとなる。第5回、6回、7回と順に協議を進めていって、最終的に案を3月くらいまでに作ればいかなと考えている。今日は、各グループの発表準備ということで、先月各グループでワークショップをしていただいたことについて発表してもらおうが、どう発表するか15分くらいかけて各グループで協議してもらい、そのあと、佐波川沿いの地図を使って発表してもらおう。その後、我々が提示した案について、行政から意見を述べてほしい。行政がどう思っているのか、我々がやろうとしていることについて、これは難しいとかこれは可能性があるとか率直に言ってもらって、今後計画を立てていく上での指針にさせてもらいたい。そこで得たものを、次の第5回目の計画案の中に生かしていきたいと思っている。要は、これから計画を作っていく上で、行政とのキャッチボールをしていき、内容を詰めていくというふうになっていく。第7回目までに国に提案出来る計画を作成し、あとはさらに登録に向けて行政と協議していくということになる。今から各グループの発表準備だが、先日各グループでワークショップをしてもらったそれぞれの該当場所について発表していただく。発表していただく要点として、どんな場所にしたいか、どんなことをしたいか、どんな施設や設備がほしいのかを確認してほしい。行政にしっかりと訴えてもらえるような内容で発表してほしい。あくまでも、ここで完結するようなものではないので、まだ話し合いが十分できていないグループがあると思うが、それはそれでいいので、今後につなげていけるような発表をしていただきたいと思います。

(1) 各グループの発表準備

(2) 各グループ発表

・A班 該当場所 ・ 防府高校佐波分校付近

B委員 我々の対象地域は、北野橋の下流地域である。ここについて何をしたいか、どんな場所にしたいかだが、地域資源というか、自然とか周辺の施設、例えば北野神社、佐波分校、そういったところを活用した遊びが出来る、いろいろな遊びが出来る場所にしたいということ。それでは何をやるか、どんなことをしたいかっていうと、いろんなイベントを考えているが、例えば鮎やモズクガニを中心とした水中生物と遊ぶイベントはできないか、佐波分校の学校林に放置竹林なんかもあって、そういったところの自然観察会、それから、佐波分校のグラウンドを使用するのか、河原も荒れてひどい状態になっていたの、そんなところを整備すると、川の傍のオートキャンプ場になる。それからホテルがここに出る。北野橋の上流側が特に多い。そこを、夜のホテル狩りや、ホテル観察会なんかもやっていきたい。それから、この周辺の団体と一緒にいろいろなことをやりたい。昔をよく知っている人は、ここは桜土手の名勝だっ

たが、テング巣病かなんかで全部枯れて今は跡形もない。それから魚釣りをする場所とか、さっきのオートキャンプにも含まれるが、テントサウナが出来るとか。それから、自分は中学校とか高校のコミュニティスクールの委員をやっているが、地域プログラムというのが高校の成果になっていて、佐波分校もいろいろなことをやっていて、国少とタイアップして国少の全国大会で全国2位になって表彰された。卒業するとき3人の方が県の教育委員会からメダルをもらうということで、職員会議で盛り上がったそうである。こんな高校を潰すのかということ。北野神社は、関・才谷の昭和会を中心に、裸坊まつり、尾綱代を引っ張り上げたりという派手なおまつりをやっている。これとタイアップしたらどうかとか。もう一つ、ここは、サイクリングロードの一部となっている。これの関係のところを何かイベントにできないか。自転車を使ったり、あるいは、遊歩道として使うとか、というような数限りないイベントが考えられた。そんなことをするためにどうして欲しいかということ、カニとか鮎のやな場が今、出雲合橋の上流に作られている。時期的にもう終わったかもしれないが、それを移設するとか。それから、これはかわまちづくりそのものがやる、土手をきちっとして欲しいとか。それから浸水公園の中にトイレを作ってほしいとか、北野から上佐地区と繋がっているの、あの辺りをきれいに整備して欲しい。それから、佐波分校が廃校になるが、あまりにも勿体ないキャンパスですごくいいところ。これを活用してできないか。バーベキューができる水まわりとか、トイレ、駐車場も。やりようによっては佐波分校のグラウンドに何百台と駐車出来る。それから今の高校生もそうだが、佐波分校がなくなるので、卒業生が帰ってくる場所を作る。かわまちづくりと一緒にやっていったらどうか。あと北野神社の下あたりが荒れているので、ビオトープみたいにするともっと価値が高くなるのではないかと思う。

・B班 該当場所・・出雲合橋付近

C委員

出雲合橋を周辺として、佐波川と島地川の合流部分の整備とか、環境をよくするというところでいろんな意見が出ている。ただ、時間が短かったので直接ご意見を聞けていない方もいらっしゃるが、ざっと出た話の中で発表をお伝えしていきたいと思う。今、池田さんが言われた、基本的にホテルだとか、ビオトープのような水生生物であるとか、川の整備であるとかは、皆同じ思いを持っている。そういうものが実現出来れば、こちらの方もいいなと思うが、こっちもやり、こっちもやりというのはなかなか難しいと思うので、どこか中心となるところを一つ絞ってそういうものをしていただくということは、大賛成というようなイメージだと感じた。その中でご意見があったのは、この土手関係の通路が、ずっと佐波分校の辺まで整備されているが、逆に言えば、上佐側というか、反対側の右岸側の整備があまりされてない状況で、途切れているところもあるということで、ぐるっと回ると3キロぐらいあるんじゃないかということなので、ぐるっと散歩コースのように廻れてもいいんじゃないかとか、ホテルの話も出たが、ホテルがたくさん飛んでいるのを見られて素晴らしい綺麗な景色を見れると思うし、さっきのホテル狩りもとてもいい話であって、池の中にあっただものはもっと川の方に近づいて、そして、実際にホテルを身近に感じられる、手に取れるようなそういうふうな整備をするというか、遠くから見るとじゃなくて、本当

に身近に接する、そういうふうな整備もいいのではないか。それから、土手が切れているところがある様子なので、どういう土手の整備計画があるんだろうかっていうような話もあり、今回のかわまちで先にやってしまって、後でまた土手がどうのこうのってなっていったらちょっとうまくいかない部分が出来てくるかもしれない。だから、今ある現状の状況を整備し、将来の計画も聞かせていただきながら、合わせていき目がいくような、そういう整備をしていくことはいいのではないかというご意見もあった。それから、前回の中にもあったが、この周りに花などを植えたり、逆に手がかかるといふようなものだったら、誰が整備するのか管理するのかという話になるので、例えばコスモスの種を蒔くとかして、花回廊のようなことをするとか。それから、徳地では歴史、奇兵隊とか重源上人とか有名なので、そういう歴史回廊のように、歴史を感じながら散歩するという、そういうコースの整備もいいんじゃないかという意見が出ていた。それから、私もちょっと個人的に考えているのは、人が集まると駐車場がないので、駐車場をどこにするかという話で、さっき池田さんは佐波分校のところと言われたが、これもとてもいいと思うし、今旧総合支所が活用されていない状況になったということで、そこを駐車場にさせていただいたり、意見の中で出てきているのは、旧総合支所をいつそのこと道の駅にさせていただきたい、南大門を移転してもう少し大きな施設にしてもらって、このかわまちと道の駅を融合できる、そういう流れにさせていただくことが出来ないだろうかということも考えてみた。そして、ピオトープというのも、子供たちには楽しいなと思った。それから、防府がやっている佐波川の整備で、トイレを作って、そのトイレの横に高齢者が気軽に運動というか、高齢者が器具を触りながら、散歩がてら機能訓練が出来るという整備がされているので、そういうものもぜひやっていただきたいというのも個人的に考えている。それから、前回、井原さんが説明された中に、丸い円形の滑り台があったが、その滑り台のようなものを、もちろん陸上にも作っていただきたいが、川の流れを変えるようなことはいけないとは思いますが、もし出来るなら、そういうのを川の中に、夏場とか、水遊びが出来るように作っていただいたら、人が集まりやすいのではないか。まとめると、地元の人たちも花回廊があって散歩するような健康作りコースみたいなことが出来るということ、それから、トイレがあれば気楽にそこに行けるということと、まずは行かないといけないので駐車場が必要であるといったこととか、外部から来ていただくということで、道の駅のようなものを整備していただきながら、イベントとかそういうものをたくさん活用しながら、かわまちのメインでもあるにぎわいを徳地の中でも作っていくということを考えているというようないろいろなご意見が出ていた。

・C班 該当場所・・佐波川と島地川合流付近

D委員 どういう場所にしたいかということろだが、ひとまず、とりあえずエリアではないが、あの場所に来たら、徳地をどう楽しもうかとかわかるような場所になるといいなと。防府方面、佐波川の下流から来ると、徳地の入り口になるのではないかと。ということで、とりあえず来てもらって、今日は八坂の方に行こうか、島地の方に行こうか、串の方も面白そうだなというような検討できる場所になればいいと思う。どうい

うことをしたいかというところだが、今、河川敷があるが、もうちょっと大きい広場が必要かなという話があった。そこで、佐波川があり島地川があるので、釣り大会が出来たりだとか、あとカヌーとかSAPで遊んだりとか体験出来る場所があったりとか、フリーマーケットが出来るような場所があるといいなと。あと、もう20年以上前になるが、鯉のぼりが吊り上がっていたと思うが、ああいうのがまた出来たらいいなとか、最近見ないが、凧揚げ大会とか、そういう子供たちが遊べるような場所があったらいいなと。あとイベントの内容としては、小さい気球みたいなものを子供たちで作って、これが上がっていくような遊びが広場があれば出来るかなという話があった。どういう物がこの場所にあったらいいかなということだが、さっき言った、とりあえずエリア。とりあえずここに来たら徳地が楽しめそうだというのがわかるように、インフォメーション、例えば案内板だったりというのを設置してほしいなと。これは歴史の重源だったり、奇兵隊だったりというのはあっていいと思うし、食事できる場所、遊ぶ場所、買い物できる場所など、そういうのもいろいろ含めた案内板があると、今日どっち方面に行ってみようかっていうのがわかりやすいかなと思う。今、駐車場が島地川のほうと佐波川のほうにあるが、もうちょっと広くできないかなと。バイクを置いたりできるような場所があったらいいなと。島地側から道のほうに出るところに横断歩道がないので、あそこは横断歩道をつけてもらいたいなと。結構車も通るし、車もスピードを出すので、なかなか横断歩道なしで渡ろうと思うと大変である。やはり、イベントとかを考えたときに、電源がないいろいろなしょうと思ってても可能なことが少ないなというのがあるので、電源があるといいなと思う。あとはやっぱりトイレが、とりあえずエリアなので、ここにきて次にどこに行こうかなという時に必要かなと思う。前回の会議であったが、県道と市道の付け替え。中島さん家の手前。重源像があるが、その道を付け替えて、ちょうどこの像と木が立っているが、あそこはもうちょっと一体的に使えるような場所になればと思っている。樹木があるので、防府方面からくると、ぱっと開けない。あそこは重源さんが木を伐りだしたとかいうイメージがあると思うが、影になってしまって佐波川や島地川のきれいな情景がかすれるので、樹木は撤去してもいいかなと思う。今イルミネーションになっているが、もともと街灯が少なくて、子どもたちは通学で遅い時間だと暗くて危ないので、もうちょっと街灯があると、夜でもあそこを楽しめるかなと思う。先ほど駐車場の話があったが、佐波川方面の駐車場の入り口を考えた時に、防府方面から入って行って、土手を走って急カーブというか、また戻るような形で駐車場に入っていくといけないといけないので、駐車場の入口が分かりづらいなと思うので、その駐車場の坂の付け替え、上流部に向かって降りていくような坂の付け替えが出来ないかというのもあった。また遊歩道を色とかで分けてもらって、遊歩道とか自転車道とか、そういうのがわかりやすくあると、花回廊というのがあったが、散策コースみたいな形で出来るのではないかなと思う。あと、川でいろいろ遊ぶことも多いと思うが、今は川の水が少なくて、川に触れようと思っても危険は少ないかなと思うが、川の水が多い時は、子どもたちが遊びに行くと落ちてしまうと大変なので、川との境がわかりやすいようにならないかなと。階段をつけたりとか、いろいろ具体的にこうしたらいいというのは分かりにくいけど、そういうのがあると、危険を考えたときに解消されるかなと思う。橋を渡ったところも検討したいが、時間がなくてそこまでいいいない

が、ここは、とりあえずエリアがいいかなと思っている。

### (3) 意見交換

A委員

まだぼやけた段階だが、我々が考えていることはご承知いただいたのではないかと思います。この後の意見交換は、行政側の意見をいろいろ出していただき、難しいところ、あるいは可能なところ、ある程度具体的な意見を出していただけると有り難い。今後の検討の参考になるんじゃないかと思っている。では行政の意見を聞いてみたいと思う。

藤田課長

3ヶ所のエリアでご協議いただき、皆様方の思いを発表されたと思う。全体的に皆さんの思いは、せっかくあるこの地域資源を生かして、何とか人が集めるエリアにしたいというような思いかなというところで、最後の導入点についてはそうかなと思う。基本的に整備をする立場でいくと、川にかかる整備は、国土交通省の方で対応していただくような部分になっていく。それで、それ以外、トイレに代表するような施設整備という部分は、市の方が受けるような話になっていくのかなと思われる。特に、最初のエリアで佐波分校を利用した話があがっている。佐波分校の施設利用については、先般御要望をいただいて、市の方もそれを受けて、県との連携を今から図っていくということを市長が車座のトークの中でも述べているので、今後それを検討していく段階になるかなと思う。施設の利用、これからどうしていくのかという中で、そういう利用が出来ていけば一番良いのかなと思っている。今の段階で、すぐに市がそれをやるって話にはなっていないので、可能かと言われれば、方向性を決められれば、そういう形でいけるのかなと思っている。続いて出雲合橋付近のエリアだが、右岸側の整備については土手の整備なので、国土交通省の今後の河川整備との関わりが若干出てくるのではなかろうかと思う。野村さんが言われた、今の防府の元橋の上側、総合堰のところに作られたエリアにある器具とかについては、市の方が対応する部分なので、健康作りコースというような形で位置づけをしていくのであれば、そういうものを設置していくことが可能だと思っている。ただ、円形滑り台については、若干場所との絡みもあるので、どこに作るかという部分もあり、この場ではすぐに回答はできない。堤防の上側、特に外側に作る部分については検討が十分出来るが、国土交通省の範疇である川の中に作る部分については、ちょっとハードルが高いのかなというか、川の流れを阻害するものを中に入れるということはちょっと難しい。その部分は、国土交通省からの話になろうかと思う。次に合流点の部分については、いろいろな部分でお話をいただいた。重源像の辺りだが、重源像の防府寄りの交差点から先の橋に向かって部分の木が立っている部分については、他からもいろいろなご意見をいただいている。木が邪魔をして、県の方も、今の道路維持の関係で、草を刈ったり、木を綺麗にさせていただくのが、そんなに頻繁にはしていただけないので、行って美夜でも草を刈っていただくのがちょっと遅くなり関係の方にはご迷惑をかけたと思うが、その部分については、今後、市もそこに関わって、重源像は市の方で占用をいただいて管理をしているので、休憩所の先の木の部分も、市の方で今後管理をさせていただくような形の中で、木の剪定というか、かな

り大きくなって今度は交通やいろんなことに支障をきたしてくる前に、早く除けるような協議をさせていただければというふうに思っている。そこは全体の整備の中でまた今後話をさせていただくようになるのかなと思う。駐車場は、確かにあのエリアに来られて両側にあるが、両方足しても止められる台数は10台程度しかない。この拡充というか広げる方法だが、これは国交省と、高水敷の中の整備ということで協議をしていくところかなと思っている。トイレの整備は、どのエリアにも要望としてあろうかと思うが、今、一番人を集う場所として、島地川の合流点部分に何とか出来ないかと、最初から皆さんからの要望としていただいているので、場所の選定等も含めて、こちらとしても考えているところである。北野橋エリアについては、やはり佐波分校の施設を使えるのが一番、施設利用としては、トイレを作ったりするのに利用すべき場所なので、出来る可能性があるのかと思う。

## 国交省

どうしても行政なので硬くなってしまいが、河川管理者として、基本的に川の中に物を作るというのは非常に難しい。それとあともう一つは堤防だが、皆さん、堤防というと台形の形を思い浮かべると思うが、この台形の中に物を作るというのは非常に厳しい。それと水の中に物を入れるというのは、非常にハードルが高い。基本的にはもう不可能だとも思っていてほしい。そういったところも踏まえて、今日お話いただいたところを言ってみると、北野橋付近の土手の整備は、全体的な河川の整備との関係があるので、すぐというわけじゃなくて、将来的にこういう形になるというところを見据えながら、その周りの整備が出来るのではないかなと思った。それと、トイレや水回りだが、いわゆる堤防の形をしたところからさらに背後に盛土することで対応出来るかもしれないが、それは実際作る主体が山口市となるので、先ほど出たように、佐波分校をそのまま残して使うとかそういったことも考えられる。それと、やななどは、全くうちの方は言うことはないかなと。漁協とかそういうところと調整していただければ、特に問題なく出来るのではないかなと思っている。桜土手もトイレと同じで、堤防の上は難しい。ピオトープとかホテルとかは水の流れる場所だが、なんとかやりようによっては実現可能な場合もあるので、そのあたりは考えようかなと。北野橋のところだが、ここでの周回道路が出来るかとか、堤防整備がどうなっているのかという話があったが、北野橋から上流の西側、実際、今の堤防整備の予定や計画はまったくない。というのが、いわゆる山付けと言われる、堤防を作らなくても山自体が堤防の代わりをして守ってくれている状況。それと、なぜかわからないが、北野橋のすぐ上、ここは実は堤防ではなくて道路。徳地の市街地側は堤防だが、反対側は道路。何度調べてもわからないが道路として整備されている。極端にいうと、あそこが洪水かなにかで壊れても国交省は手を出せない。川の中に土が溜まるということで手は出せるが、堤防だから直せと言われても手を出せない。何故かと言われてもわからない。なので、もし周回道路を作るのであれば、道路という形で人が歩ける程度のものを、遊歩道として山口市の方で整備することになるかもしれない。北野橋付近のトイレとなると、旧総合支所は完全に取り壊すのかどうかかわからないが、今ある施設を使用するとするとそういうところかなと。それと、合流点のところの話だが、駐車場への入り口から、河川敷に入るところの販路が折り返しになっているという話であれば、川に降りる販路は、上流から下流に向けてしか基本的には



無理。要は洪水の時にどうしても水が走るようになるので。あと駐車場を広くしたら、河川敷であれば駐車場が広がる分、河川敷を利用しての遊びというのは減る可能性もあるので、そういったところの折り合いとか。確かに、発表の時に言われたように、入口であるので、案内出来るようなものはあったほうがいいのかという気がした。

A委員 思ったより時間が残ってしまったので、もしご質問等あれば、一つ二つ受けてみたいと思う。

B委員 質問ではないが、国交省もいらっしゃるので今回の3つの地区以外の情報を。実はこの地図の下のところだが、今、我々の桜のテング巣病を治療しようというグループで、伏野の河川公園で去年今年といろいろやって、メディアにも取り上げていただいて、桜が咲いた時にはイベントをやるということを、伏野地区の住民の方も交えてやった。今年も実は剪定作業をして、その時にも思ったが、ここはもともと河川公園としてトイレもついているし、ゲートボールなども過去にはやっていたので結構広い。ホテルも実は徳地で一番多いところ。川平橋の下手。見に来る人が一番多いのは関水だった。ホテルの数よりも人の数の方が多かったのではないかと思った。この島地川側の浚渫作業プラス、昔みたいに降りることが出来る河原があったら、伏野河川公園はものすごい利用価値があるところである。これは今回の計画には入っていないが、我々はこの伏野公園の桜並木を何とかしてここに人が集まれる活動をしている。その時に困るのが、川に降りにくいのと、川平橋側からは車で行けるが、反対側の須路側から行くと草がすごい生えていて、車を走らせたなら傷だらけになるというようなことがあるので、いつか検討する場所の一つにさせていただけたらと思っている。

E委員 今の池田さんの続きで、国交省も県土木も全く関係ないことはないと思うが、ここから向こうは県土木の管轄になっている。予算的には十分あるはずだし、特別予算である。あと2年残っており、ご存知だと思うが県土木のほうで浚渫とか随時やっていた。先ほど言われた、この柳橋のところまでは、図面などあるものを全て市を通して出しており、その資料も残っているので、またやっていただけるような形になろうかと思う。先ほど言われたようにホテルが一番多い。ここまでの河川公園までの道も、全て県土木の管轄になると思うし、あと2年半、閣議決定でかなりの金額が残っている。それを活用してやっていただくように、バックアップを国交省や市のほうで言っていただきたい。会長の方からも頼んでいただいてかなりやっていたが、それをもっともっと。7割は全部いける訳なので皆が喜ぶ。それと付随してぜひやっていただきたい。それと国交省がいるが、佐波高の辺りまでは国交省の直接の管理で、その向こうが県土木。浚渫とかそういう問題もあろうかと思うので、それでやってほしい。国交省の30年計画で、この辺りまではかなり具体的に出ている、すでに資料も入っている立派なものが見られるようになっている。この辺りまではもう常時やっていただけるように、ちょうど時期が来ているというのはほとんどの人が知っている。具体的な内容を見れば分かると思う。その辺と付随した形

の内容で、一体化した内容で作っていただきたい。この辺のバックアップをお願いしたい。先ほどちょっと出たが、魚取りとか子ども、お孫さんやお年寄りなどが散策するとか、漁協のえらい方もいらっしゃるのうまいこといくんじゃないかと思う。

C委員

知らないことだらけなので教えていただきたいが、先ほどの、河川に降りる道は下流に向けてとていうのは、初めて聞いてなるほどと感じた。去年も土手にイルミネーションを飾られてすごく綺麗だったが、年末からお正月にかけて大雪が降って、そこを外部から来られた方が、土手の法面をスキーのように滑ってイルミネーションが壊れたというのを聞いた。法面を活用した滑り台のような、子供たちが遊べるようなものにと、補強じゃないが芝とかいろんなことがあると思う。そういうことは可能なのか、それも駄目なのか。

国交省

それも基本的にはできない。極端に言うと、堤防を後ろに引いて、法面を緩やかにして、草スキーじゃないが、ダンボールで滑ったりとかそういうのはあるかもしれない。例えばだが、基本、堤防の勾配は2割にすることになっている。そういう使い方もできるかもしれないが。

A委員

今日は意見交換ということで、まだ我々も不十分なところがいっぱいあると思う。今日、行政よりいろいろな意見をいただいた。これが参考になって、より実現可能なものに発展してのではないかと期待している。次回は今日のことを踏まえて、より具体的に、出来たら作図をしてもらって、その作図を通してまた検討していくような形になっていくといいと考えている。まとめということで、レジメの右下のところを見てもらうと、実はかわまちづくり計画というのはあくまでも案で、実は、そのあと行政のほうで練ってもらうような形になる訳で、かわまちづくり支援制度実施要項というものが国土交通省から出されている。その中にいろんな約束ごとが書いてある。今後我々がより実現可能性のある計画を作っていくためには、やはり支援制度に従っていかなければならない。簡単にまとめてみた。何が書いてあるかということ、かわまちづくり実現に向けて支援制度に登録するための計画が必要。いくら我々がいいものを作っても、登録してもらえないことには、その計画は実現の方向に向かわない。二番目に、実現性の高い水辺の整備、利用にかかわる取り組みを計画、実現性の高いもの。そういった意味で、今、我々と行政とがしっかりとキャッチボールしようとしている訳である。キャッチボールをしていって、お互いがしっかりと歩みよって、可能性のあるものに計画を高めていかないといけない。そういう性格のものである。それからもう一つは、市町村、地元住民、河川管理者の連携の元に作成。なので、今この場で連携しようとしている訳である。まさにキャッチボールがそれに当たる。そして次に、新制度に登録する要件というのがある。一つは推進主体がみずから整備を計画。推進主体というのは市町村、各関係自治体と我々地元住民、あるいは民間の業者が入ってくるかもしれないが、これらが推進主体であって、みずから整備を計画したものでなければならない。2点目に、様々な諸活動が見込まれる。ただ我々は整備してほしい、あとは知らないではなくて、そこをどう活用していくか、継続的な活動が見込まれなければならない。例えば、今イルミネーションを重源像のところで

やっているが、あれは継続的にやられている。ああいった活動をしていくことができるかどうか。それから、良好な河川空間形成の熱意が特に高い。我々は今日プレゼンをしたが、しっかりとその熱意を示していかなければならない。それから、関係施設の適正な維持管理が出来る。これが大事。先ほどトイレの話も出たが、誰が管理していくのか、そこまで話し合いをしないといけない。作ったからもういい、管理は任せではなくて、やはり推進主体が共同して管理出来るようなものにしていかないといけない。こういうふうな要件が満たされて、ようやく支援制度に登録できるのではないかと考えている。一番最後に、こういった要件が満たされて、河川空間を整備し、その利活用を図る必要のある河川、佐波川がそうだとということになればいい。以上、これから計画を練っていく中において、我々はしっかりとこういったことを踏まえてやっていこう。ただむやみやたらに計画を立てれば通るというものではないということイメージしておいていただきたい。次回の予定だが、予定でいくと次は第五回。1月にやりたい。

藤田課長 1月22日に重源サミットを予定している。それに向けて、総合支所も関係していただく皆様方にご協力いただきながら準備している段階である。それで、こちらの希望は23日の週でお願いしたい。施設についても、それまではその準備の関係で場所が取りにくくなっている。23日の週でお願いしたい。

※日程について協議の結果、1月26日(木)10時からに決定する

A委員 次回は、検討委員会におられ、防府市でもかわまちづくりに取り組まれたFさん呼びたい。地元でもあり、いろんな理解があるのではないかと考えているので、課題と体験を話してもらおうと、また我々が話を進めていく上でやり易くなると思う。よろしいか。

藤田課長了承

A委員 では、次回はFさんをお呼びして、防府市の現状と課題を話していただき、またそれを参考にしながら、今日行政の方からいただいた意見も参考にしながら、より実現性の高い計画に向けていきたい。

C委員 全国でこのかわまちづくり計画が何カ所かあると思うが、今は自分たちがわかる範囲というか、限定された中の情報でしか言えないので、もしよかったら、こういうところにはこういうふうな計画を立てて、こういうふうな実行されていますよという実績、実現が出来ているとか、そういう実際にかわまちがどんなふうに通っているのかとか、そういうのもちょっと知りたいっていうか。知ったら少しまた知恵が出てくるかなと思う。

A委員 全国でも80ヶ所くらいある。以前国交省の井本さんからかなりの資料をもらっているが、改めていくつか用意してもらえるか。

C委員 資料をたくさんいただいても見きれないので、もしよかったら、例えばプロジェクターで簡単にこんなところにはこんなものがあるというのを、説明というか情報を知らせていただけたらありがたいと思う。

A委員 代表的なところや我々の現実に近いものもいい。このぐらいなら可能かなっていうのをまとめていただいて紹介してほしい。では、1月は、Fさんに20分ぐらい話していただいて、今のような全国の事例を紹介してもらおうと、そういうふうなものをたたき台にして、さらには今日御意見いただいたものもたたき台にして、再度、掘り下げていきたい。そしてこの大きな地図に作図していただくといいと思う。例えば、ここを駐車場にしてほしいとか、しかもこのぐらいに広げてくれとか、より具体的な図を作ってもらおうと意見を出してもらいやすいと思う。ここは降りる階段を作って欲しいとか、ここにトイレが欲しいとか。

C委員 作図もいいと思うが、正直さっき国土交通省から聞いたりしたことは全然知らないことで、降りる道が下流に向かってしか出来ないとか、法面を使ってはいけないとか、そういう詳しい事情がわからない中で、僕らが勝手にやっても…

E委員 作図というのはすぐに出来るようなものではないので、具体的にやるなら、建設業者が17社あるので、その辺に頼んで、こういうものという具体的な形で出さないと、国交省から、河川法も知らないでと言われる。

C委員 それか、なにか青写真のようなものがあれば。ここならこんなものが出来ますよとか。

A委員 厳密にこうでなくてはならないというものではなく、我々の要望なので、素人考えでいいと思う。ここに川に降りる階段があったらいいとか、我々の要望として出してみても、専門家にこれは駄目だと言われると思う。じゃあどういう形になるのかとなるので、我々が専門家に頼んでやるよりは我々の要望として、これをしてほしいとか出してみる方がいいと思う。あくまでも行政が期待しているのは我々の要望。何をしたいかっていう要望を待っている訳なので、だから我々はより具体的に図面に落としてみて、それでまたいろいろ言ってもらおう、実現化していく方がいいと思う。もちろんその後で、専門家にということもあると思う。そういう流れでどうだろうか。では、次回はそういう流れでいきたい。